

第5学年 学級活動指導案

平成28年11月30日(水) 第5校時

1 議題 「2学期 頑張ったね会をしよう！」

(第5学年 ア 学級や学校における諸問題の解決)

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級は、一人一人の個性が大変強いクラスである。そのため、課題も多いが、あらゆる場面においてみんなで話し合い、解決しようとする姿が、多くみられるようになってきている。言葉で伝える大切さや相手の思いをきちんと聞くことの大切さを随所に確認し、一人一人が意識できるようにもなっている。また、それぞれの個性を理解し、それを受け止めながら、つながりを深めようとしている。

4月当初と比べると、係活動や当番活動、グループ討議等を通して、共に協力しながら活動しようしたり、児童一人一人が、常に学級目標を意識したりしながら学校生活を送る姿が見られるようになった。また学級活動を通して、みんなで決めたことをみんなで実施することが大切であることや、自分たちの学校生活をよりよく楽しい時間にするものという意識も高まりつつある。しかし、時間が延びてしまったり、集団思考の際に話題が理解できず、自分の意見が言えなかったりする児童がいることなどの課題点もある。

学級活動を通して、集団の中でお互いの個性を生かしながら、且つ、一人一人の意見をより大切にすることを育てたい。そして、自分たちが話し合い、実践することで、達成感を感じさせ、自主的に、豊かで潤いのある学校生活が送れるようにしたい。これが、個々の自己肯定感を高めることにつながると考える。

5年生での1番大きな行事「林間学校」を通じて、みんなが①楽しく、②達成感を感じ、③絆が深まることを実感することができた。そして、個々が努力し、解決することが、集団の高まりにつながることや、求める「成功」への必要不可欠な条件だということを感じてきたはずである。2学期に入り、陸上大会や学習発表会など、様々な行事に取り組み、つらいことも楽しいこともみんなで話し合い、支えあいながら、乗り越えてきた。それぞれが自分を見つめ、個々の目標に向かって努力し、それをみんなで応援し、ともに喜び合えた今学期は、心も体も大きく成長したに違いない。この時期、児童からは「学習発表会頑張ったね会」などの議題案も出されていたが、2学期のまとめにふさわしい会を協力して行いたいという願望から、本題材が選定された。2学期頑張ったね会で、自分たちが大きく成長したことを感じ、自分を支えてくれた友達に、感謝の気持ちが持てるような会を創意工夫をして作り上げてほしい。みんなで知恵を出し合い決めたことが、自分たちの学級文化を作り上げているということを実感できるような話し合い活動を展開していきたい。

3 研究課題とのかかわりと手立て

夢や目標に向かって努力できる生き生きとした児童の育成
～メタ認知能力向上“自己肯定感”を高める学級活動の充実を通して～

目指す児童像（高学年）

- ①信頼し、支えあおうとする子 ②自他の良さを認め合い、生かす方法を話し合える子
③自分の役割や責任を果たし、自己の生き方に生かせる子

これらの目標に迫るために以下の手立てを講じる。

- ①お互いの意見を認め合いながら、具体的なよりよい解決方法をみつけ、伝えられるようにする。

（手立て）

- ア) 計画委員会を充実させ、話し合いの流れについて確認をする。また、他の児童にもどのような意見が出ているのか、前もって確認・整理をし、掲示をしておく。
イ) 話が混乱しないよう、みんなが話し合うべき事が理解できるよう、カラーマグネットシートや、可視化できるカードを使いながら、板書の工夫を行う。
ウ) 自分の意見をしっかりとてるよう、前もって学級会ノートに記入する。
エ) 事前に、クラスでインタビューをし、情報を集めておく。（経験不足の補い）
オ) 反対意見を言うとき、代案を言えるようにする。

- ②自分のやるべきことを明確にし、最後まで取り組めるようにする。

（手立て）

- ア) 自分の良さが生かせるような仕事を担えるよう、意識しながら決定させる。
イ) 役割を責任もって取り組めるよう、実施計画書を書く。
ウ) 計画委員は準備スケジュール表を作成し、掲示する。

4 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

5 事前の活動

月 日	活動の場	活動の主体	活動の内容	指導上の留意点
11月18日 (昼休み)	教室	計画員会	議題の選定・役割の確認	今のクラスに必要なものと選択する。
11月18日 (帰りの会)	教室	全体	議題の決定	全員で議題を決定する。
11月21日 (昼休み)	教室	計画委員会	場所の確認・流れの確認	スムーズに話し合える準備をする。
11月22日 (朝の会)	教室	全体	プリントの配布	提案理由等を説明、共通理解を図れるようにする。
11月25日 (昼休み)	教室	計画委員会	意見の整理・掲示	事前にどのような意見が出ているのか把握する。

6 本時のねらい

- ・今までの経験やインタビューしたことをもとに、みんなが楽しめて、物を大切にするリサイクルの意識が高まるような意見が言えるようにする。
- ・お互いの意見を聞き、尊重し合いながら、折り合いを付けて話し合いができるようにする。

7 展開 (活動計画)

第 9 回	にこにこ2組 学級会	11月30日(水) 第5校時
議題	2学期頑張ったね会をしよう	
役割分担	司会() 黒板記録() ノート記録()	
提案理由	<p>現状 たくさんの課題や行事に、一人一人が意識をもって、そしてみんなで力を合わせて頑張ってきたが、毎日忙しく、みんなの頑張りを認め合える場が少なかった。</p> <p>解決方法 自分や友達の頑張ったことを認め合い、また支えてくれた仲間へ感謝を伝えられるような会をする。</p> <p>今後の2組 さらにみんなの良さを知り、よりよい、仲のいい2組になれると思う。そして、3学期、自分に自信を持ち、みんなで力を合わせて頑張っていけると思う。</p>	
めあて	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの頑張りが認め合えるような会になるような意見を考えよう。 ・今までの経験を生かして、工夫された会が行われるような意見を言おう! 	
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ○1時間で行う ○一人一人の頑張りが認められるような内容にする。 ○2つ決める。 ○プログラムは事前に計画委員が作成 案 1初めの言葉 2歌 3()4()5先生の話 6終わりの言葉 ○教室で行う。○期日 12月21日 4時間目 	

話し合いの順序	・気をつけること	○指導上の留意点◎評価（計画委員●） ☆メタ認知能力の向上の視点
1 あいさつ	・元気よくあいさつをする。	
2 歌	・みんなの心が一つになるよう、学級歌を歌う。	○歌うことで声を出させ、緊張を解き、話し合い活動の意欲を高める。
3 役割の紹介	・自分のめあてを具体的に伝える。	
4 議題の確認 5 提案理由の確認 6 話し合いのめあての確認 7 話し合うことの確認 8 決まっていることの確認	・事前に調べたこと、まとめたことを伝える。 ・柱ごとに話し合える時間を確認し、時間内に終わるように協力を呼びかける。 ・提案理由やめあてをしっかりと意識させ、話し合いに参加するように伝える。	●インタビュー結果や資料を用意し、掲示しながら意見が深められるようにする。 ○提案理由やめあてがとても大切な事だということを意識させ、話し合いに参加できるようにする。
9 先生の話		○提案理由などのキーワードを押さえ、必要に応じて、補足説明する。
10 話し合い 柱1 みんなの頑張りや認め合える活動 柱2 思い出がよみがえるような工夫 柱3 役割	・意見が出た後、質問、賛成・反対意見を交えながら話し合い活動を行う。 ・意見を整理しながら黒板上でまとめる。 ・友達の意見を大切にしながら話し合いを進める。	●様々な取り組みが意見として出された場合、黒板記録を中心に整理し、全員が話し合いの流れを把握できるようにする。 ○お互いの意見を大切に出来るようにする。 ○なかなか決まらない場合は、提案理由やめあてに戻って考えるよう話す。 ○話し合いの途中でも、必要な場合は、積極的に助言していく。（安全面、金銭面、人権面等） ○反対意見を言うときは、代案も言えるようにする。 ○反対の理由が明確になるように、可視化する。 ○特別な支援が必要な児童には、個のめあてを明確にし、意識させながら参加できるようにする。 ○計画委員にもフロアーにも、時間を意識させ、折り合いをつけることの大切さを意識させる。

		<p>○役割については、事前に考えられることは、計画委員が提示しておき、決まったことをもとに、さらに付け加えていくようにする。</p> <p>○計画委員は、柱1が決まった段階で、黒板を整理しながら、柱2で話し合うことや流れを確認する。その時、フロアーは、決まったところまでノートに記入する。</p> <p>◎友達の意見大切にしながら、クラスのことを考え、建設的な意見を伝えることが出来る。</p>
1 1 決まったこと の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート記録がまとめ発表し、確認をする。 	○本時で決まったことについて、共通理解をしっかりとできるようにする。
1 2 振り返り・ まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価・相互評価を行う。 	<p>○自分の役割や自己評価、他者評価を具体的に記入し、本時をしっかりと振り返させると共に、次時につながる具体的方策を書けるようにする。</p> <p>☆次の活動への関心が高まり、積極的に参加できるよう、自分の役割を理解し、意欲的に取り組む。(関・意・態)</p>
1 3 先生の確認		○計画委員会のねざらい、良くなっている点、今後どうすればよいのか、そして児童へのねざらいを伝える。
1 4 あいさつ		

8 事後の活動

月 日	活動の内容	指導上の留意点
~12月19日	準備	休み時間等を使って、会の準備を進めていく。支援が必要な児童には、個々に声をかけたり、保護者の応援をお願いしたりする。
12月20日 (帰りの会)	準備の確認	計画委員に翌日の活動の準備や持ち物の確認をするように助言し、全体に意識させる。
12月21日 (4時間目)	2学期頑張ったね会	話し合ったことをもとに、それぞれが提案理由を思い出し、成功できるようにする。

9 備考

(当日)